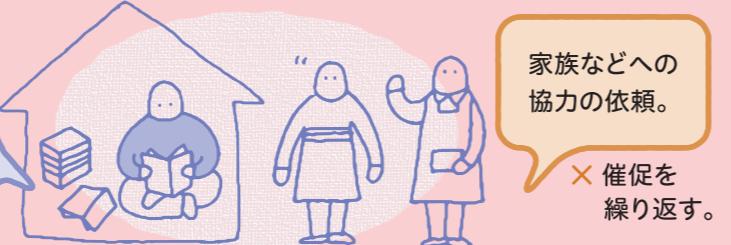


## 公共施設編



図書館

返還期日を過ぎても返却がない。  
(連絡をしても返却に来ない)



ウロウロはしているが本を探している様子でない。

利用方法を説明し、一緒に確認を行う。  
× 周囲にわかるようにとがめる。

本の借り方がわからない。

お困りのことや手伝うことがないか、お聞きする。  
特に本人が困っていない様子、他の利用者の迷惑にならないのであれば、見守る。  
× ウロウロしないように言う。

個別に説明、1ステップずつ説明する。  
× 利用案内を渡す。

受付カウンター

### ここがポイント!

公共施設は認知症の人も含めて、全ての利用者に気持ち良く利用していただくための配慮が求められていると思われます。

図書館

認知症の方で好まれる方も多いいらっしゃいます。新聞のページをめくらない、本を読まずに座っているということもあります。ご本人が困っている様子がなければ見守ってください。用件を尋ねる“声掛け”によって、居づらい思いをすることもあります。

### サークル活動

約束を間違える、場に臨機応変に対応できなくなるといったことが重なり、活動に参加しにくくなり、家に閉じこもりがちになっていくケースが多くあります。

また、サークルの役員となっていた場合など、トラブルになるケースもあります。認知症発症後もサークル活動に参加し続けられるよう、認知症の人を支援しつつ、トラブルを未然に防ぎ、他のメンバーとの関係を調整していく役割が、スタッフには期待されます。



出入口

